

こんにちは 森林官です!

日高北部森林管理署
振内森林事務所
首席森林官
(振内・仁世宇担当区)
木村 裕一



振内合同森林事務所が所在する沙流郡平取町は、沙流川の流域に位置し、甘みに富んだ桃太郎トマトの栽培やブランド牛「びらとり和牛」の飼育が盛んな人口5,400人程の町です。

町内芽生地区のすずらん群生地は、約15haにおよび日本一の広さであり、毎年6月開催のすずらん鑑賞会には多数の来訪者が可憐な花とほのかな香りを楽しんでいきます。



群生地の「すずらん」

町内の二風谷地区は、アイヌ文化の伝統が色濃く残り、町もアイヌ文化振興を重要施策と位置付けております。

こうした中、アイヌ文化を育んできた森を保全・再生・活用するため、平成25年に平取町、北海道アイヌ協会平取支部、北海道森林管理局の三者で「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」を共同で実施し、協定を締結し、国有林野を地域の文化振興の場として活用しております。



仁世宇国有林から幌尻岳を望む

日高山脈最高峰の幌尻岳(標高2,053m)を有する平取町は区域面積の84%が森林であり、そのうち56%にあたる約42,000haが国有林野です。

現在は、振内・貴氣別・幌尻の3森林事務所の職

員4名で管理しており、振内森林事務所はその内約15,400haを担当しています。

森林事務所の職員は、日高山脈の奥深い森林で次のような業務を行っております。

① 地況林況調査

国有林野の適切な管理や伐採更新等の施策に資するための現地調査であり、森林計画の基礎資料とします。

夏場は、身の丈まで笹が繁茂している箇所や林道が通行出来ない箇所もあります。そのような箇所は、積雪期にスノーモビルを利用して各種調査に行くこともあります。積雪期は笹が雪に埋もれ、歩き易いことから効率的に業務を行うことが出来ます。

② 製品生産事業

森林整備により間伐した木を資源として有効利用するために製品(丸太)にする事業です。

昔は、非常に危険の伴う作業でしたが、現在は、

様々な高性能林業機械により、安全で効率的に丸太を生産して土場に集積する作業形態が主流となっています。

このような森林整備の請負事業の監督も主要な業務です。



地況林況調査

③ 境界巡視

国有林野と民有地の境界を確認する業務です。国民の財産である国有林野を管理するための重要な業務です。

④ 国有林の窓口業務

国有林野事業の最前線として地域に根ざした森林事務所であることを心がけ、「国有林の窓口」としての役割を担っています。